



**諫早市で異業種交流/地域課題解決ワーケーションを
富士通株式会社と連携して実施
都市部企業 7 社と長崎大学が参加
大草小学校全校生徒と大草について考えるワークショップも開催**

令和 6 年 10 月 29 日（火曜日）から 11 月 1 日（金曜日）まで、ワーケーション受入推進事業の一環として、本県とワーケーションパートナーシップ協定を締結している富士通株式会社と連携して、諫早市・大草地区をメインに異業種交流/地域課題解決ワーケーションを実施します。今回、富士通株式会社の声掛けにより、トヨタ自動車株式会社、サントリーコーポレートビジネス株式会社、サントリービバレッジソリューション株式会社、三井不動産株式会社、コクヨ株式会社、富士通 Japan 株式会社の社員の方に加え、長崎大学の学生も参加し、地域との交流を図りながら、大草地区の地域課題に取り組みます。

○ワーケーションの概要

大草まちづくり協議会全面協力の下、以下に示す主なプログラムを実施します。

- ・ 10 月 29 日：大草地区住民による手作りの歓迎会（参加者総勢 80 名！）
- ・ 10 月 30 日：住民によるガイドで大草地区を散策しながら、特徴や課題を理解する活動
- ・ 10 月 31 日：企業毎のチームに分かれ、前日理解した特徴や課題に対する提案を考察
- ・ 11 月 1 日：各チームから地域住民の方々へ提案を発表

また、子供たちに未来に対する夢や希望を与えられるような機会を創出したいとの思いから、10 月 30 日には大草小学校を訪問し、大草をもっとよくするにはどんなことができるか、全校生徒とワーケーション参加者が一緒になって真剣に考えるワークショップも実施します。

○長崎県ワーケーション受入推進事業 概要

長崎県には、壱岐、対馬、五島列島など大小様々な島が 971 島あります。また、中国や西洋の文化を受け入れながら多くの人と交流し栄えてきた歴史があり、同じ長崎県でありながら、地域ごとに景観、文化、地域資源など様々な顔を持つ県でもあります。県ではその特色を活用しながら、観光のような一時的な訪問ではなく、多様な形で継続的に地域とのつながりを持つ「関係人口」の創出・拡大を目的に、ワーケーションの受入れやリモートワーク（サテライトオフィス）の誘致を行っています。

○長崎県と富士通株式会社との関係性

2022 年 4 月に長崎県と富士通株式会社は「ワーケーションパートナーシップ協定」を締結しました。2022 年度は雲仙市にてワーケーションを実施、2023 年度には島原市にてワーケーションを実施し、今回が 3 回目となります。今回は異業種交流や地域課題解決をテーマに、今までとは違うワーケーションを実施します。

○富士通ワーケーションパートナーシップ協定とは

富士通株式会社では、ワーケーション推進による多様な働き方に共感する地方自治体及び団体と「富士通ワ

ワーケーションパートナーシップ協定」を締結し、社員に対してワーケーションの実践を推奨しています。また、パートナーシップ協定を締結した地方自治体が企画・検討しているワーケーションツアーにも積極的に参加し、より充実したツアーになるように改善提案を行うとともに、各地域コミュニティとの協働によるワーケーションプログラムの企画、地域課題をテーマとしたワークショップなどを展開しています。

■取材の申込みについて

取材をご検討の方は、10月28日（月曜日）までに E-mail にて、お知らせください。
※詳細スケジュールについては取材申込者へお渡しします。

〈宛先アドレス〉 remotework@pref.nagasaki.lg.jp

〈担当〉 長崎県地域振興部 地域づくり推進課：帯屋 明奈

本件に関する問い合わせ先

長崎県 地域振興部地域づくり推進課 UI ターン・関係人口班
中島・帯屋

TEL：095-895-2242

e-mail： remotework@pref.nagasaki.lg.jp